B5FH-5521-01-00

FMV LIFEBOOK

FMV-7160MR2

取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書では次の項目を説明しています。

FMV マニュアルについて

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイトFMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）内の『FMVマニュアル』に記載されています。『FMVマニュアル』は、「スタート」ボタン→「(すべての）プログラム」→「FMVマニュアル」から参照いただけます。

FUJITSU

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本パソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本パソコンをお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本パソコンをお使いください。
また、『安全上のご注意』およびマニュアルは、本パソコンの使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
   お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本パソコンでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
   お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
   本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
   (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
   本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
   ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
   (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
   お客様が本ソフトウェア（本パソコンに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本パソコンに添付されている媒体を本パソコンとは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
   お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲
   (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
   また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
   (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
   (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
8. ハイセイフティ
   本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

   記

   原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（http://www.microsoft.com/japan/）。
お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。
したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。
ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。
また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本装置に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本パソコンに入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

・ TFT 液晶ディスプレイは高度な技術を駆使し、一画面上に 235 万個以上（解像度 1024 × 768 の場合）の画素（ドット）より作られております。このため、画面上の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合がありますが、これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ 本パソコンで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
この装置は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスクなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

本装置の使用環境は、温度 5 〜 35 ℃、湿度 20 〜 80%（RH）です。また、保存環境は、温度 -10 〜 60 ℃、湿度 20 〜 80%（RH）です。

このパソコンは、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会が定める高調波ガイドラインの適用対象外です。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

保守修理サービスのご案内

弊社では、保守修理サービスとして、以下の「契約サービス」「スポット保守サービス」を用意しております。
お客様のご希望、ご利用状況に合わせたサービスをお選びの上、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にお申し込みください。

■ 契約サービス

お客様と契約に基づき、機器管理を行います。
保守サービス料金は月額の定期保守料をお客様に負担していただきます。
料金は定額ですので、お客様の予算管理も容易です。

・ 定期保守サービス
トラブルを未然に防止するとともに、機器の機能維持を行うため、定期的に予防点検、整備調整作業を行います。万一の障害発生時には保守員がお客様に伺い、保守修理作業を実施いたします。
業務にご利用の場合などで、機器の使用頻度の高いお客様に最適なサービスです。
・ 定額訪問修理サービス
万一のトラブルの際に、保守員がお客様に伺い、修理作業を実施いたします。
・ 定額点検サービス
トラブルを未然に防止するための定期点検のみを実施する契約サービスです。
点検時の部品の交換、障害発生時の保守作業については別途有償とさせていただきます。

■ スポット保守サービス

必要に応じてその都度利用していただく保守サービスです。
保守サービス料金は、サービス実施の都度、お客様に負担していただきます。

・ スポット訪問修理サービス
お客様のご依頼により、保守員が修理にお伺いします。
修理料金はその都度ご清算いただきます。なお、保証書の無料修理規定による保証期間中の修理費用は無償ですが、訪問に必要な費用は別途有償となります。
・ スポット持込修理サービス
「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にお持ち込みいただき、修理完了後に、お客様にお引き取りいただきます。経済的な費用で修理できます。
・ スポット引取修理サービス
お客様のご依頼により、弊社指定の運送業者がお客様をご訪問させていただき、機器を回収いたします。修理完了後に、お客様までご返送させていただくサービスです。
なお、保証書の無料修理規定による保証期間中の修理費用は無償ですが、往復の運送に必要な費用は別途有償となります。
・ スポット点検サービス
お客様のご依頼により、保守員がお客様を訪問させていただき、機器を整備・点検します。
機器の長期間の使用や移設作業後に点検を行いたい場合などにご利用いただけます。なお、点検時に部品交換などが必要と判断された場合は別途有償とさせていただきます。

※アフターサービスなどについて、ご質問などがございましたら、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へお問い合わせください。

本書の表記

■警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⊘	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
        ↑  ↑
```

・↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

・CD-ROM ドライブのドライブ名を、［CD-ROM ドライブ］で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

［CD-ROMドライブ］:¥setup.exe

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作
↓
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「－」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。
↓
「メイン」－「フロッピーディスク A」: 使用しない

■フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売の周辺機器を用意してください。使用できる周辺機器については、『システム構成図』をご覧ください。
周辺機器の使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2002 年 5 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください（→ P.18）。

■カスタムメイドオプション

本文中の説明は、標準仕様に基づいて記載されている場合があります。
そのため、お使いのパソコンがカスタムメイドオプションを取り付けている場合、本文中の説明と一部記載が異なる場合があります。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。
なお、本書ではお使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td>Windows XP Professional</td><td rowspan="2">Windows XP</td><td rowspan="6">Windows ※</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Home Edition</td><td>Windows XP Home Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 2000 Professional</td><td colspan="2">Windows 2000</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0</td><td colspan="2">Windows NT</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® Millennium Edition</td><td colspan="2">Windows Me</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION</td><td colspan="2">Windows 98</td></tr>
<tr><td>Microsoft® MS-DOS® operating system</td><td colspan="3">MS-DOS</td></tr>
<tr><td>Norton AntiVirus™ 2002</td><td colspan="3">AntiVirus</td></tr>
<tr><td>VERITAS RecordNow DX 4.0</td><td colspan="3">RecordNow</td></tr>
<tr><td>Adobe® Acrobat® Reader 5.0</td><td colspan="3">Acrobat Reader</td></tr>
<tr><td>Intel® SpeedStep™ Technology Applet</td><td colspan="3">Intel SpeedStep</td></tr>
<tr><td>Intellisync® for Notebooks</td><td colspan="3">Intellisync</td></tr>
<tr><td>Phoenix® Portables Suite</td><td colspan="3">Portables Suite</td></tr>
</table>

※：Windows XP/2000/NT/Me/98 のように併記する場合があります。

■機種名表記

本文中の機種名を、次のように略して表記します。
なお、本書ではお使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。

<table>
<tr><th>機種名</th><th colspan="2">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>FMV-7160MR2</td><td>〔MR〕</td><td>本パソコン／パソコン本体</td></tr>
<tr><td>FMV-7000NA2</td><td>〔NA〕</td><td rowspan="7">その他のパソコン</td></tr>
<tr><td>FMV-6120NU2
FMV-610NU2</td><td>〔NU〕</td></tr>
<tr><td>FMV-612NU2/E</td><td>〔NU E〕</td></tr>
<tr><td>FMV-6100MG2
FMV-610MG2</td><td>〔MG〕</td></tr>
<tr><td>FMV-665MC2</td><td>〔MC〕</td></tr>
<tr><td>FMV-273LS2
FMV-273LS2/WL</td><td>〔LS〕</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>モデル</th><th colspan="2">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>モデム搭載</td><td colspan="2">モデム搭載モデル</td></tr>
<tr><td>有線 LAN 搭載</td><td>有線 LAN 搭載モデル</td><td rowspan="2">LAN 搭載モデル</td></tr>
<tr><td>ワイヤレス LAN 搭載</td><td>ワイヤレス LAN 搭載モデル</td></tr>
</table>

■警告ラベル／注意ラベル

本パソコンには警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。
警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

リサイクルについて

■パソコン本体の廃棄について

パソコンの液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。パソコンを廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

なお、パソコンを使用していた状態のまま廃棄すると、ハードディスク内の情報を第三者に見られてしまう恐れがあります。廃棄するときは、すべてのドライブをフォーマットすることをお勧めします。

ただし、フォーマットやファイルを削除しただけでは、悪意を持った第三者によってデータが復元される可能性があります。機密情報や見られたくない情報を保存していた場合には、市販のデータ消去ソフトなどを利用して、データを消去し、復元されないようにすることをお勧めします。

●法人・企業のお客様へ

パソコンを廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通リサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

●個人のお客様へ

パソコンを廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■富士通リサイクルシステムについて

弊社では 1998 年より、法人・企業のお客様から廃棄されるパソコン本体を「富士通リサイクルシステム」（有料）にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。

お問い合わせ／お申し込み先： http://eco.fujitsu.com の「富士通リサイクルシステム」をご参照ください。

なお、法人・企業以外のお客様はお申し込みできません。

■使用済バッテリパックの廃棄について

バッテリパック（リチウムイオン電池）は、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。

バッテリパックを火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済バッテリパックは、ビニールテープなどで絶縁処理をしてください。

●法人・企業のお客様へ

使用済バッテリパックを廃棄する場合は、富士通株式会社環境本部（電話番号：044-754-3411）にお問い合わせください。

●個人のお客様へ

使用済バッテリパックは、「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の販売店などに設置してあるリサイクル BOX に入れてください。

Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

ユーザー登録について

本パソコンのユーザー登録は、FMWORLD.NET でできます。

FMV マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）内の『FMV マニュアル』に記載されています。「スタート」ボタン→「(すべての）プログラム」→「FMV マニュアル」から参照してください。

梱包物の確認

『梱包物一覧』をご覧になり、添付品をご確認ください。
足りない部品などがあった場合は、できるだけ早く、ご購入元にご連絡ください。

パソコンを持ち運ぶときは

本パソコンを持ち運ぶ場合は、次のようにしてください。

- ●本パソコンの電源を切ってください。
- ●フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされていないことを確認してください。
- ●液晶ディスプレイを閉じてください。
- ●本パソコンをかばんの中などに入れて携帯する場合は、パソコン本体背面を下側に、ラッチを上側にして、かばんに入れてください。

電源を入れる

注意事項

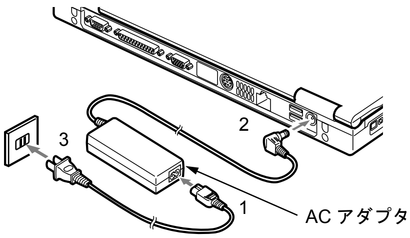
- ●ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器の取り付けなどは行わないでください。
- ●電源を入れてから、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- ●モバイルマルチベイに何も取り付けていない状態で電源を入れないでください。故障の原因となります。
- ●電源を入れる場合、および本パソコンを持ち運ぶ場合は、フロッピーディスクドライブにディスクがセットされていたら、取り出してください。
- ●電源を入れる際、ノイズが発生することがあります。その場合は、音量を下げてお使いください。
- ●電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- ●AC アダプタなど磁界を発生する機器と FDD ユニットは離して使用してください。
- ●電源を入れても画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。
  - ・状態表示 LCD の SUS/RES 表示（ ⏻ ）を確認してください。点灯している場合は、キーボードかフラットポイントに触れてください。また、【Fn】＋【F7】キーを押して、明るさを調整してください。点滅している場合は、電源ボタンを押して動作状態にしてください。消灯している場合は、電源を入れてください。
  - ・バッテリ運用している場合は、状態表示 LCD のバッテリ残量表示を確認してください。本パソコンのご購入時やバッテリが充電されていない場合は、AC アダプタを接続してください。

電源の入れ方

ここでは、本パソコンの通常の電源の入れ方について説明します。

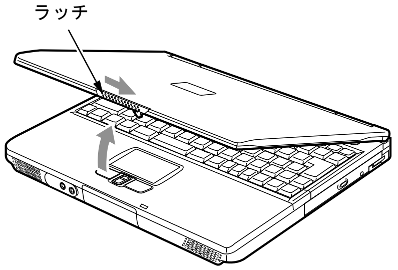
1 **AC アダプタを接続します。**

AC アダプタのコードを接続し (1)、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します（2）。その後、プラグをコンセントに接続します（3）。



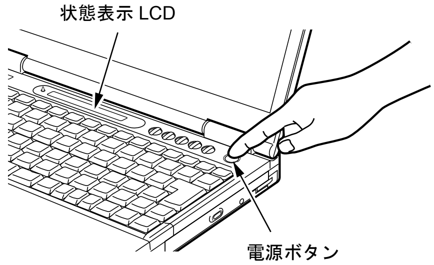
2 **液晶ディスプレイを開きます。**

ラッチを右にスライドしてロックを外し、液晶ディスプレイに手を添えて持ち上げます。



3 **電源ボタンを押します。**

パソコン本体に電源が入り、POST（自己診断テスト）が始まります。また、状態表示 LCD の ⏻ などが点灯します。



重 要

- 電源が入っている場合は、次の点に注意してください。
  - ・パソコン本体のキーボードの上に書類などのおおいかぶさる物は置かないでください。
    パソコン本体の放熱がさえぎられ、故障の原因となります。
  - ・長時間使用すると、本パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じることがあります。これは、本パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、キーボードなどの表面も温かくなるためです。故障ではありません。
  - ・使用条件によっては、本パソコンの底面が高温になる場合があります。ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。
  - ・排気孔の前に物を置いたりして、排気孔をふさがないでください。本パソコンの故障の原因となります。
- 次のように設定している場合は、電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じないでください。キーボードからの放熱効果が失われ、本パソコンが故障する原因となることがあります。
  - ・「電源オプションのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブまたは「詳細」タブの「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を「なし」に設定している場合

POINT

- POST とは、Power On Self Test（パワーオンセルフテスト）の略で、パソコン内部に異常がないか調べる自己診断テストです。本パソコンの電源が入ると自動的に行われ、OS の起動直前に完了します。
- POST 中に電源を切ると、自己診断テストが異常終了したと診断されます。本パソコンでは、自己診断テストの異常終了回数をカウントしており、3 回続いた場合、4 回目の起動時にエラーメッセージを表示します。POST 中は、不用意に電源を切らないでください。

セットアップ

初めて電源を入れた後に行う Windows の初期設定（Windows セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。
なお、内蔵ポインティングデバイスがない場合は、あらかじめマウスを接続してください。

留意事項

- Windows セットアップを行う前に、次のことをしないでください。
  Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。
  - ・周辺機器の取り付け（カスタムメイドオプションを除く）
  - ・LAN ケーブルの接続
  - ・メモリの増設
  - ・PC カードのセット

Windows XP セットアップ

1 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます（→ P.8）。
しばらくすると、「Microsoft Windows へようこそ」が表示されます。

2「次へ」をクリックします。
「使用許諾契約」が表示されます。
「使用許諾契約」は、本パソコンにあらかじめインストールされているWindowsを使用するうえでの契約を記述したものです。

3「使用許諾契約」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。

POINT

- 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。

4「このコンピュータの名前」と「コンピュータの説明」を入力し、「次へ」をクリックします。
「コンピュータの説明」は省略できます。

POINT

- コンピュータの名前や説明は、セットアップ終了後にあらためて設定することができます。

Windows XP Professional では「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。手順5へ進んでください。Windows XP Home Edition は手順 7 へ進んでください。

5 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

「このコンピュータをドメインに参加させますか？」と表示されます。

POINT

- **「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示された場合は、手順 8 へ進んでください。**
- **「設定が完了しました」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。**

6 「いいえ ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「インターネット接続を確認します」と表示されます。しばらくすると、「インターネットに接続する方法を指定してください」と表示されます。

7 「省略」をクリックします。

「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されます。

8 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「設定が完了しました」と表示されます。

9 「完了」をクリックします。

本パソコンが再起動する場合があります。

手順 5 でパスワードを入力した場合は、パスワードの入力画面が表示されます。

10 パスワードを入力し、「→」をクリックします。

「ネットワーク設定」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

11 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をクリックします。

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重 要

- **「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。**

12 「実行する」をクリックします。

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

13 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

重 要

- **「復元ポイントの作成」を行う場合は、「必ず実行してください」を実行後、再起動してから行ってください。**

これで、Windows セットアップが完了しました。

■セットアップ後

- 『FMV マニュアル』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LAN またはモデムの設定を行ってください。
- カスタムメイドオプションでアプリケーションを選択している場合は、『FMV マニュアル』内の『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。
- カスタムメイドオプションで内蔵DVD-ROM&CD-R/RWドライブユニットまたは内蔵 CD-R/RW ドライブユニットを選択している場合は、『FMV マニュアル』内の『DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ、CD-R/RW ドライブをお使いの方へ』をご覧ください。
- カスタムメイドオプションでスマートカードを選択している場合は、添付のマニュアルではなく『FMV マニュアル』内の『スマートカードホルダー取扱説明書』をご覧ください。

その他の設定については『FMV マニュアル』の「機能」－「セットアップ後」を参照してください。

Windows 2000 セットアップ

POINT

- **セットアップ中に「Windows 2000 Professional CD-ROM 上のファイル `xxxxx.xxx` が必要です。」というメッセージが表示されることがあります（xxxxx.xxx には courf.fon などのファイル名が入ります）。この場合は、「コピー元」に「c:¥support¥i386」と入力し、「OK」をクリックして、セットアップを始めてください。**
  セットアップが完了した後、「Windows 2000 Service Pack2」をインストールしてください（→『FMV マニュアル』）。

1 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます（→ P.8）。

しばらくすると、「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」が表示されます。

2 「次へ」をクリックします。

「ライセンス契約」が表示されます。

「使用許諾契約書」は、本パソコンにあらかじめインストールされているWindowsを使用するうえでの契約を記述したものです。

3 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- **「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。**

4 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。

「組織名」は省略できます。

「コンピュータ名と Administrator のパスワード」が表示されます。

5 「コンピュータ名」、「Administrator のパスワード」と「パスワードの確認入力」を入力し、「次へ」をクリックします。

POINT

- パスワードでは大文字／小文字が区別されます。

モデム搭載モデルは、手順 8 へ進んでください。

LAN 搭載モデルは、「ネットワークの設定」が表示されます。手順 6 へ進んでください。

ネットワークの設定については、セットアップ完了後にネットワーク管理者に確認し、ご使用の環境に合わせて設定してください。

6 「標準設定」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「標準設定」では、次のネットワークコンポーネントがインストールされます。
  - ・Microsoft ネットワーク用クライアント
  - ・Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
  - ・インターネットプロトコル（TCP/IP）

「ワークグループまたはドメイン名」が表示されます。

7 「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「Windows 2000 は正常にインストールされました。」と表示されます。

8 「再起動する」をクリックするか、または 15 秒待つと本パソコンが再起動します。

- ・LAN 搭載モデルの場合

  「ネットワーク識別ウィザードの開始」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

  「このコンピュータのユーザー」が表示されます。

- ・モデム搭載モデルの場合（同時に LAN を搭載しているモデルは「LAN 搭載モデルの場合」参照）

  「Windows へログオン」ウィンドウが表示されます。

  手順 11 へ進んでください。

重 要

- LAN搭載モデルで、「ネットワーク識別ウィザード」ウィンドウが表示されたとき、「戻る」をクリックしないでください。

  再設定が必要な場合は、設定終了後に該当個所を修正してください。

9 「ユーザーはこのコンピュータを ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「ネットワーク識別ウィザードの終了」が表示されます。

POINT

- 必ず「ユーザーはこのコンピュータを ...」を選択してください。「ユーザーはこのコンピュータを ...」以外を選択すると、セットアップが正常に行われないことがあります。

10 「完了」をクリックします。

「Windows へログオン」ウィンドウが表示されます。

11 手順 5 で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「ネットワークのプロパティ」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

「Windows 2000 の紹介」ウィンドウが表示されます。

12 本パソコンを再起動し、Windows にログオンします。

最終設定が行われます。

13 ログオン後、デスクトップの「必ず実行してください」アイコンをダブルクリックします。

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重 要

- 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

14 「実行する」をクリックします。

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

重 要

- 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。
- 再起動するまでの間は、キーボードやポインティングデバイスを操作しないでください。

15 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

これで、Windows セットアップが完了しました。

■セットアップ後

●『FMV マニュアル』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LAN またはモデムの設定を行ってください。

●カスタムメイドオプションでアプリケーションを選択している場合は、『FMV マニュアル』内の『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。

●カスタムメイドオプションで内蔵 DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニットまたは内蔵 CD-R/RW ドライブユニットを選択している場合は、『FMV マニュアル』内の『DVD-ROM &CD-R/RW ドライブ、CD-R/RW ドライブをお使いの方へ』をご覧ください。

その他の設定については『FMV マニュアル』の「機能」－「セットアップ後」を参照してください。

セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

□Windows セットアップが進められなくなった

●「電源を切る」（→ P.12）をご覧になり、本パソコンの電源を一度切った後でセットアップをやり直してください。

●Windowsセットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、ポインティングデバイスで操作してください。

□起動時などの音がうるさい

●音量を調節します。

・〔NA〕: 本体右側面の音量ボリュームで調節します。

・〔NU〕: 本体左側面の音量ボリュームで調節します。

・〔NU E〕〔MR〕〔MG〕〔MC〕〔LS〕:【Fn 】＋【F8 】キーを何度か押します。

□画面が見にくい

●液晶ディスプレイの角度を調節します。

●次のキーを何度か押して調節します。

【Fn】＋【F6】キーを押すと、表示が暗くなります。

【Fn】＋【F7】キーを押すと、表示が明るくなります。

電源を切る

注意事項

●電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。

●本パソコンの電源を切る場合は、あらかじめ CD やフロッピーディスクなどを取り出してください。

●電源を切る際、ノイズが発生することがあります。その場合は、音量を下げてお使いください。

●液晶ディスプレイは静かに閉じてください。
閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。

電源の切り方

ここでは、本パソコンの通常の電源の切り方について説明します。以下の操作を行うと OS が終了し、本パソコンの電源が切れます。また、状態表示 LCD の SUS/RES 表示（→ P.8）が消えます。

■Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「終了オプション」→「電源を切る」の順にクリックします。



■Windows 2000 の場合

「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「シャットダウン」を選択して「OK」をクリックします。



POINT

- 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。
  1. 【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押します。
  2. 次の操作を行います。
     - Windows XP の場合
       「シャットダウン」メニュー→「コンピュータの電源を切る」の順にクリックします。
     - Windows 2000 の場合
       「シャットダウン」をクリックし、「シャットダウン」を選択して「OK」をクリックします。
- 通常の操作で表示される画面で、「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。再起動とは、メモリに入っている情報をいったん消して、再びフロッピーディスクやハードディスクなどから OS を読み込み直すことです。
- 通常の操作で表示される画面で、「スタンバイ」または「休止状態」を選択すると、本パソコンが省電力状態になります（→『FMV マニュアル』）。
- このあと、本パソコンを長期間使用しない場合は、AC アダプタやバッテリパックを取り外してください。

ご購入時の設定に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

BIOS セットアップを起動し、「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行します。

リカバリ概要

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、またはハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合）を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（→『FMV マニュアル』）に戻す操作です。

リカバリは、大きく 2 種類に分かれます。

- ●ご購入時の状態に戻す
  現在のハードディスクの領域設定はそのままで、C ドライブをご購入時の状態に戻します。
- ●領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す
  ハードディスクの領域を設定した後、ご購入時の状態に戻します。現在のハードディスク領域を変更したいとき、またはハードディスクを増設したときには、領域設定が必要になります。

リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

■ご購入時の状態に戻す場合

ハードディスクの領域設定は現在お使いの状態のまま、C ドライブのみをリカバリします。

1. リカバリ前の準備（→ P.14）
2. リカバリ方法（ご購入時の状態に戻す）
   内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合（→ P.15）
   ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合（→ P.15）
3. リカバリ終了後（→ P.17）

■領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す場合

リカバリ中に画面上で確認しながら、ハードディスクの領域を再設定します。100MB 単位で 2 区画まで作成できます。

1. リカバリ前の準備（→ P.14）
2. リカバリ方法（領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す）
   内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合（→ P.16）
   ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合（→ P.16）
3. リカバリ終了後（→ P.17）

留意事項

■全 OS 共通の留意事項

- ●ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合は『FMV マニュアル』をご覧になり、ポータブル CD-ROM ドライブを使用するための設定を行ってください。
- ●リカバリやハードディスクの領域の変更を行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。また、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してリカバリを行った場合は、D ドライブのファイルはすべて削除されます。
  必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- ●周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- ●リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- ●カスタムメイドオプションのアプリケーションはリカバリされません。
- ●本書では内蔵ポインティングデバイスでの操作を前提に記述してあります。
- ●「ご購入時の状態に戻す（推奨）」を選択した場合は、リカバリを行っても、C ドライブ以外のドライブはフォーマットされません。

■Windows XP の留意事項

- ●Windows 起動中に「リカバリ CD-ROM」をセットすると、「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されます。「キャンセル」をクリックしてください。

■Windows 2000 の留意事項

- ●リカバリを行うと、C ドライブは FAT32 に設定されます。C ドライブを NTFS に変換していた場合は、リカバリ後再度 NTFS に変換してください（→『FMV マニュアル』）。

リカバリ操作

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の方法を説明します。

POINT

- ▶ リカバリに関する留意事項（→ P.14）をよくお読みのうえ、リカバリを行ってください。
- ▶ 機種により、主電源スイッチのあるもの、MAIN スイッチのあるものがありますが、「主電源スイッチ（MAIN スイッチ）」と併記されています。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の操作を行ってください。

■ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合

1. リカバリ CD-ROM 起動ディスクを用意します（→『FMV マニュアル』）。
2. 本パソコンにポータブル CD-ROM ドライブを接続します。
3. フロッピーディスクドライブがない機種では、FDD ユニットを取り付けます。

■BIOS 設定について

BIOS の設定をご購入時の設定に戻します（→ P.13）。

POINT

- ▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

リカバリ方法（ご購入時の状態に戻す）

本パソコンをご購入時の状態に戻します。ハードディスクの領域は変更されません。
Windows Me では FDISK で領域設定を行った後、ご購入時の状態に戻すこともできます。FDISK を使用すると、1MB 単位で 3 区画以上の領域を設定できます（→『FMV マニュアル』）。

POINT

- ▶ リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。

■内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合

次のものを用意してください。

- Windows XP/2000 の場合：「リカバリ CD-ROM 1、2」
  Windows Me の場合：「リカバリ CD-ROM」

1 「リカバリ CD-ROM 1」または「リカバリ CD-ROM」をセットします。
2 本パソコンを再起動します。
3 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。
  メニューが表示されます。
  表示されない場合は、【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押して本パソコンを再起動してください。
4 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。
  「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。
5 【Page Up】【Page Down】キー（【Fn】＋【↑】【↓】キー）で説明をスクロールし内容を確認して、【Y】キーを押します。
6 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して【Enter】キーを押します。
  確認の画面が表示されます。
7 【Y】キーを押します。
  しばらくするとリカバリの画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。
  - Windows XP/2000 の場合
    ファイルのコピーが始まります。「2 枚目のメディアをドライブ Z: に入れてください .」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM 2」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押します。
    リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。
  - Windows Me の場合
    リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。
8 CD-ROM を取り出してから、次の操作を行います。
  - 〔NA〕〔NU〕〔MG〕〔MC〕は本パソコンの主電源スイッチ（MAIN スイッチ）をスライドさせて電源を切ります。
  - 〔MR〕は電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。
  - 〔NU E〕〔LS〕は強制終了スイッチを押して電源を切ります。
9 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（→ P.17）。

■ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合

次のものを用意してください。

- Windows XP/2000 の場合：「リカバリ CD-ROM 1、2」
  Windows Me の場合：「リカバリ CD-ROM」
- 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（→『FMV マニュアル』）

1 フロッピーディスクと CD-ROM をセットします。
  「リカバリ CD-ROM 1」または「リカバリ CD-ROM」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。
2 本パソコンを再起動します。

POINT

- 「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM」をセットしてください。」と表示された場合は、何かキーを押します。

  「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。
3 【Page Up】【Page Down】キー（【Fn】＋【↑】【↓】キー）で説明をスクロールし内容を確認して、【Y】キーを押します。
4 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して【Enter】キーを押します。
  確認の画面が表示されます。
5 【Y】キーを押します。
  しばらくするとリカバリの画面が表示されファイルのコピーが始まります。
  - Windows XP/2000 の場合
    ファイルのコピーが始まります。「2 枚目のメディアをドライブ Z: に入れてください .」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM 2」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押します。
    リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。
  - Windows Me の場合
    リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。
6 フロッピーディスクと CD-ROM を取り出してから、次の操作を行います。
  - 〔NA〕〔NU〕〔MG〕〔MC〕は本パソコンの主電源スイッチ（MAIN スイッチ）をスライドさせて電源を切ります。
  - 〔MR〕は電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。
  - 〔NU E〕〔LS〕は強制終了スイッチを押して電源を切ります。
7 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（→ P.17）。

リカバリ方法（領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す）

ハードディスクの領域を設定した後、ご購入時の状態に戻します。

リカバリ中に画面で確認しながら、100MB 単位で 2 区画までの領域を設定できます。

この方法では、C ドライブにリカバリを行い、D ドライブに空の領域を作成します。

重 要

- 区画の設定を行うことにより、ハードディスクの内容が消えてしまうことがあります。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- リカバリ中に区画を作成する場合、100MB 単位で 2 区画までしか作成できません。3 区画以上を作成する場合、または 1MB 単位で区画を作成する場合は、FDISK を使用してください（→『FMV マニュアル』）。

■内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合

次のものを用意してください。

●Windows XP/2000 の場合 :「リカバリ CD-ROM 1、2」
Windows Me の場合 :「リカバリ CD-ROM」

1 **「リカバリ CD-ROM 1」または「リカバリ CD-ROM」をセットします。**

2 **本パソコンを再起動します。**

3 **「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。**
メニューが表示されます。
表示されない場合は、【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押して本パソコンを再起動してください。

4 **CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。**
「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。

5 **【Page Up】【Page Down】キー（【Fn】＋【↑】【↓】キー）で説明をスクロールし内容を確認して、【Y】キーを押します。**

6 **「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。**

7 **領域の設定方法により、次の操作のどちらかを行います。**

POINT

- 領域を変更すると、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

・**「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。**
C ドライブの容量を任意に設定してください。【←】【→】キーを押すと、100MB 単位で、領域を設定できます。
その他の設定については、次を参考にしてください。
・C ドライブを FAT16 で使用する
（Windows Me の場合）
C ドライブを FAT16 に変更することができます。【F】キーを押し、項目にチェックマークを付けます。
・1 つの区画として設定する
（Windows XP/2000/Me の場合）
ハードディスク全体を C ドライブとして設定することができます。【P】キーを押し、項目にチェックマークを付けます。
領域を設定したら、【Enter】キーを押します。

・**「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。**
ハードディスク内の領域が、ご購入時の設定となります。

8 **【Y】キーを押します。**
領域の設定が行われた後、リカバリの画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。
・Windows XP/2000 の場合
「2 枚目のメディアをドライブ Z: に入れてください .」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM 2」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押します。
リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。
・Windows Me の場合
リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。

9 **CD-ROM を取り出してから、次の操作を行います。**
・〔NA〕〔NU〕〔MG〕〔MC〕は本パソコンの主電源スイッチ（MAIN スイッチ）をスライドさせて電源を切ります。
・〔MR〕は電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。
・〔NU E〕〔LS〕は強制終了スイッチを押して電源を切ります。

10 **以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（→ P.17）。**

■ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合

次のものを用意してください。

●Windows XP/2000 の場合 :「リカバリ CD-ROM 1、2」
Windows Me の場合 :「リカバリ CD-ROM」
●作成した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」(→『FMV マニュアル』)

1 **フロッピーディスクと CD-ROM をセットします。**
「リカバリ CD-ROM 1」または「リカバリ CD-ROM」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

2 **本パソコンを再起動します。**

POINT

- 「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM」をセットしてください。」と表示された場合は、何かキーを押します。

「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。

3【Page Up】【Page Down】キー（【Fn】＋【↑】【↓】キー）で説明をスクロールし内容を確認して、【Y】キーを押します。

4「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

5 領域の設定方法により、次の操作のどちらかを行います。

POINT

▶ 領域を変更すると、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

・「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

C ドライブの容量を任意に設定してください。【←】【→】キーを押すと、100MB 単位で、領域を設定できます。

その他の設定については、次を参考にしてください。

・C ドライブを FAT16 で使用する（Windows Me の場合）

C ドライブを FAT16 に変更することができます。【F】キーを押し、項目にチェックマークを付けます。

・1 つの区画として設定する（Windows XP/2000/Me の場合）

ハードディスク全体を C ドライブとして設定することができます。【P】キーを押し、項目にチェックマークを付けます。

領域を設定したら、【Enter】キーを押します。

・「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

ハードディスク内の領域が、ご購入時の設定となります。

6【Y】キーを押します。

領域の設定が行われた後、リカバリの画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。

・Windows XP/2000 の場合

「2 枚目のメディアをドライブ Z: に入れてください .」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM 2」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押します。

リカバリが終了すると、「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。

・Windows Me の場合

リカバリが終了すると、「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。

7 フロッピーディスクと CD-ROM を取り出してから、次の操作を行います。

・〔NA〕〔NU〕〔MG〕〔MC〕は本パソコンの主電源スイッチ（MAIN スイッチ）をスライドさせて電源を切ります。

・〔MR〕は電源ボタンを4秒以上押して電源を切ります。

・〔NU E〕〔LS〕は強制終了スイッチを押して電源を切ります。

8 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（→ P.17）。

リカバリ終了後

本パソコンの電源を切った後、次の操作を行ってください。

□内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合

1 周辺機器が取り付けられている場合は、すべて取り外します（カスタムメイドオプションを除く）。

2 本パソコンの電源を入れます。

3 以降、「セットアップ」を参照して Windows のセットアップを行ってください（→ P.9）。

□ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合

1 周辺機器が取り付けられている場合は、すべて取り外します（カスタムメイドオプションを除く）。

POINT

▶ PC カードをお使いの場合は、忘れずに PC カードも抜いてください。

2 本パソコンの電源を入れます。

3 以降、「セットアップ」を参照して Windows のセットアップを行ってください（→ P.9）。

セットアップ後、必要に応じてソフトウェアをアンインストールしてください（→『FMV マニュアル』）。
また、必要に応じてドライバ、添付アプリケーションまたはカスタムメイドオプションのアプリケーションをインストールします。

POINT

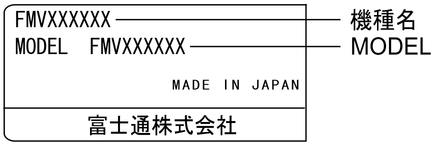
▶ ワイヤレス LAN 搭載モデルをお使いの場合、リカバリ終了後『ワイヤレスLAN をお使いになる方へ（IEEE802.11b 準拠）』を参照して、必要な設定を行ってください。

お問い合わせ先

下記の連絡先へお問い合わせください。なお、お問い合わせの際は、あらかじめ機種名、MODEL、ご利用環境について確認してください。

■機種名と MODEL の表記場所

パソコン本体のラベルに記載されています。



■連絡先

こんなときには	こちらへ
・添付品の不備	ご購入元にご相談ください。
・故障かなと思われたとき	富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）内の『**FMV マニュアル**』に記載されている「**トラブルシューティング**」をご覧ください。 ※『FMV マニュアル』は、「スタート」ボタン→「（すべての）プログラム」→「FMV マニュアル」からご覧いただけます。 それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただくか、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」※にお問い合わせください。
・FM シリーズの技術的なご質問・ご相談 ・本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	・富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）内の『FMV マニュアル』をご覧ください。 ・ソフトウェアのお問い合わせにつきましては、『FMV マニュアル』の「トラブルシューティング」に記載されている「**ソフトウェアのお問い合わせ一覧**」をご覧ください。それでも不明な点がございましたら、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」※にお問い合わせください。

※ :「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」:
0120-950-222（フリーダイヤル）
- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- 営業時間 9:00~17:00（土・日・祝日およびシステムメンテナンス日を除く）。

■情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス（カタログ）	043-299-3642（千葉） 06-6949-3270（大阪）
インターネット（製品の技術情報、Q&A 情報）	富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET http://www.fmworld.net/

Memo

本製品はJEITA「PCグリーンラベル制度」の
審査基準(2001年度版)を満たしています。
詳細は、Webサイト http://www.jeita.or.jp
をご覧ください。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

Ⓢ 0205-1

B5FH55210 1